



日野総合事務所だより



昔なつかし日野の風景 (昭和20年代)

この頃の写真を見ていると、しぜんと顔がほころび笑い声まで聞えてきます。
当時の写真には、私たちが元気にするパワーが秘められていそうです。

撮影：木島写真館 木島千隼氏
(右上は日野町野田)
(左下は根雨高校)

農林局	2~7
福祉保健局	8
県土整備局	9~11
県民局	12~14
連載 地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話 (第10回)	15
鳥取県日野郡民行政参画推進会議からのお知らせ	16~23
日野高校コーナー	24~25

日野郡特別栽培米研究会

日野郡産特別栽培米

販売開始!



商品パッケージ



商品には、使用している農薬の成分、化学肥料の量など表示しています

★特別栽培米とは？

農薬や化学肥料の使用を慣行基準の半分以上に削減して栽培した米のこと。鳥取県は、こうした一定の基準を満たす農産物を認証する制度を設けています。

昨年から日野川源流米コンテストなどを実施し日野郡の特別栽培米の産地づくりに取り組んできましたが、鳥取県西部地区は「みずほ米穀」、京阪神は「鳥取県食」の二つの米卸業者が主体になって販売が開始されました。台風や長雨など、栽培面では苦勞の多い年でしたが、「おいしい！」と消費者の評判は上々のようです。

一二月八日、総会と研修会を開催し、来年度の栽培暦や食味、さらに農薬を減らしていくための種子消毒について研修を行いました。今後は、米卸の精米工場や販売店の見学、消費者に「産地からのたより」を配布するなど、生産者から消費者までつながりを深める活動にも力を入れたいと考えています。

問い合わせ先
農林局 日野農業改良普及所
電話 0859-72-2029
担当 天満伊津美

鳥取県チャレンジプラン 支援事業を活用して

チャレンジプラン支援事業は、意欲ある農家のプランを支援することにより、地域農業の活性化を目的とした事業です。
現在までに、日南町7件、江府町1件、旧溝口町3件が認定されました。

例えば、日南町下多田集落では、有志が集まりエコフレンドリーファーム（代表 坪倉昌氏七名）というグループを作り、この事業を活用して、特別栽培米の生産や水稲作業の共同化、団地におけるカラーの栽培などに必要な機械等を計画的に整備しているところです。



11月、球根掘取機試運転！
花が終わった球根は春まで貯蔵します。



カラーの花



七月開花初め。ハウスの他、露地でも栽培します

〈認定一覧〉（平成16年12月末現在）

問い合わせ先
農林局 農業振興課
担当 柴田 寛
電話 0859-72-2007

日南町	日南町くり生産向上プラン	新技術を導入し、県内唯一のくり産地の復活を目指す。
	エコフレンドリーファームチャレンジプラン	安全、安心を掲げた特別栽培米や花卉カラーの販売で差別化を図り、収入を安定させる。
	あぐりねっとチャレンジプラン	地域の若手で機械や作業の共同化を行い、経営を安定させ、10年後に法人化を目指す。
	福田屋チャレンジプラン	機械化で経営規模を拡大し、所得向上を図る。
	岩田 正チャレンジプラン	機械の高性能化を図り、作業受託を増加させ、経営を安定させる
	大仙谷農作業受託組合プラン	集落で機械や作業の共同化を行い、荒地を無くし農業経費を軽減させる。
	日南町トマト2億円プラン	ハウス設置や省力技術で増反を行い、特産トマトの産地拡大を図る。
江府町	江府町トマト生産活性化プラン	省力化技術の導入等で増反を行い、産地の活性化を促す。
溝口町	溝口町特産果樹振興プラン	観光果樹園の整備と加工製品の開発で、地域農業の活性化と所得向上を目指す。
	花壇苗作期拡大・負担均平化プラン	ハウスを整備して冬期間栽培を行い、経営の安定化と労働時間の均平化を目指す。
	溝口町白ねぎ生産発展プラン	白ねぎ振動掘取機を導入し、労力軽減を進め、増反を図る。

地元のコシヒカリのおいしきPR

日野川源流米

コンテスト大盛況!

第2回とってもおいしい日野川源流米コンテスト(同コンテスト実行委員会主催)の表彰式・食味鑑定会が十一月十九日(金)、日野町山村開発センターで生産者、JA、米卸業者、消費者等が出席し、盛大に開催されました。

◆審査結果◆

審査では、出品されたコシヒカリ玄米3合、百十五点を事前に食味計で分析し、アミロース、タンパク質、水分、脂肪酸の値から算出された「食味値」により受賞者を決定し、賞状の授与、副賞として素敵な地元産品等を贈呈しました。

【最優秀賞】八十五点	佐伯忠重(日南町)
【優秀賞】八十四点	遠藤利美(日野町)
【優良賞】八十三点	若林 朗(日野町)
” ”	加藤健二(江府町)
” ”	影山 捷(溝口町)

(敬称略)

今年のコンテスト食味平均値は昨年を3ポイント上回る七十七点的好成绩となりました。

◆その他のイベント◆

表彰式以外には、食味鑑定士の講演、日野郡グランドチャンピオン米と新潟県南魚沼産コシヒカリ等による食味鑑定会、日野郡各町の米料理の試食で会場は盛り上がりました。食味鑑定会では、参加者の半数以上の方から日野郡グランドチャンピオン米が一番おいしいとの評価をいただきました。



日野郡と県外産のコシヒカリを食べ比べる参加者

◆入賞者の栽培方法◆

入賞者の栽培方法の共通点として、
 ①堆肥等の投入による土づくり、
 ②施肥及び水管理等の適切な肥培管理
 ③台風、長雨被害の少ない九月上旬までの収穫が挙げられます。



絶品!香茸もち、香茸御飯、大山おこわ、椎茸寿司



日野郡各町自慢の米料理、餅、漬物等を試食!

◆米生産者の皆様へ◆

日野郡良食味米の生産とブランド化に向けて、来年度も本コンテストを開催する予定ですので、多くの出品をお願いします。

◆出品された玄米は◆

出品玄米は精米し、JA鳥取西部女性会日野町支部の「米の一握り運動」で会員から寄せられた白米とともに、米子市上後藤の児童養護施設「聖園天使園」へ寄贈しました。



コンテスト出品米寄贈 (聖園天使園にて)

問い合わせ先

日野川源流米コンテスト実行委員会事務局
 (農林局 農業振興課)
 電話 0859-72-2006
 担当 岸田 淳

広葉樹造林

「適地適木」のすすめ



ケヤキ人工林（日南町宮内）



クヌギ人工林

このたびの台風二十三号により、スギを中心として根返り・幹折れなど大きな被害が発生しました。

林業は、植えてから伐採利用するまで長い年月を必要としますので、災害にも強い健全な森林としていくために、自然の摂理を十分に理解して、まずその土地の条件にあつた樹木を選ぶこと（適地適木）が欠かせません。

近年、広葉樹の価値が見直され、クヌギなどの広葉樹の植栽を希望される方の比率が増えてきました。

スギやヒノキの風倒被害地を整理した後、広葉樹を植える場合も「適地適木」の大原則を十分に念頭において、土地にあつた樹種を選んでください。

造林補助金のことも含めて、詳しくは、農林局林業振興課（林業改良指導員）もしくは最寄りの森林組合にお問い合わせください。

問い合わせ先
農林局 林業振興課
電話 0859-172-2021
担当 谷口 紳二

〈主な広葉樹の植栽適地等〉

樹種	ケヤキ	キハダ	クヌギ	ヤマザクラ	クリ	コナラ
地形位置	山腹下部		山腹下～中部		山腹下～上部	
適地	<ul style="list-style-type: none"> ・陽当たりの良い場所 ・土壌の深い肥沃地 ・排水性の良い適潤地 		<ul style="list-style-type: none"> ・陽当たりの良い場所 ・適潤な肥沃地 		<ul style="list-style-type: none"> ・陽当たりの良い場所 ・やや肥沃地 	
植栽本数	3,000～6,000本/ha	2,000～3,000本/ha	約3,000本/ha	3,000～本/ha		約3,000本/ha
その他	幹をまっすぐにするため、やや密植にする。他樹種と混交可	土地条件要求度大 被圧に弱い	耐雪性やや弱 萌芽更新可	幹をまっすぐにするため、やや密植にする。		クヌギより耐雪性強 萌芽更新可
伐採までの年数	60～80年以上	30年以上	15～20年以上	60～80年以上		20～25年以上
用途	・建築用材 ・家具材	漢方薬（樹皮）	シイタケ原木	建築用材		シイタケ原木

※下刈り・つる切り・除間伐などの保育作業は欠かせません。
※下刈り時に誤伐しやすいので、杭などの目印が必要です。

「日野川の源流と流域を守る会」から

『たたら製鉄』の歴史的・文化的遺産を

明日の地域づくり・森づくりに活かす！

中国山地では、古くから「たたら製鉄」が盛んに行われ、日野川源流域もその中心地の一つとして全国に知られていました。

「たたら製鉄」は、これからの日野郡の地域づくりにとって、大切な歴史的文化的な遺産です。また、人々が「たたら製鉄」を通して、山（森）にどのような働きかけを行い、暮らしてきたかを知ることが、いま大切な課題となっている。「持続可能な森林の利用」や新たな「森林との共生」関係を築いていく上でも重要です。

「奥日野のたたら文化再発見ツアー」

十一月十四日(日)に開催しました。参加者は七五名。

朝、日野町根雨の近藤家住宅近くで、たたら研究会全国委員の影山猛さんから近藤家のたたら経営などの解説を、日南町宮内の東樂樂福神社では、伯耆文化研究会の坂田友宏さ

んから、鉄にまつわる樂樂福さんの伝承などについて解説いただきました。

日南町美術館での展示会「今甦る日南町の和鐵」を見学した後、日南町役場交流ホールで『神話と「たたら」の歴史・文化遺産を明日の奥日野に活かすために』と題して放談会を開催しました。司会は、新日本海

新聞社西部本社の勝原公一さん。現地で解説いただいたお二人の先生のほか、日南町霞の伊田広明宮司さ

んからは、古事記にはあつて出雲国風土記にはない「ヤマタノオロチ神話」の話、たたら製鉄の研究をしておられる日南町山本裕二さんからは、奥日野の製鉄発祥は、鉄鉱石をルーツとする可能性があるという話など、



近藤家付近にて (日野町根雨)



東樂樂福神社にて (日南町宮内)



放談会場のようす (日南町役場交流ホール)

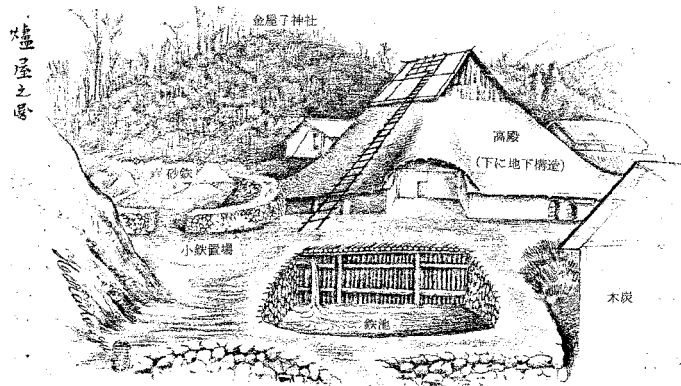
日野川源流・

森林文化セミナー

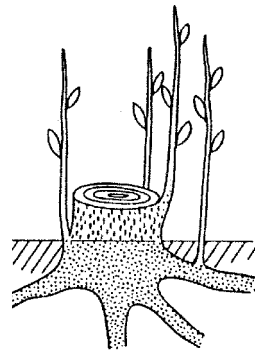
会場とのディスカッションを含め縦横無尽に語り合いました。

「たたら製鉄と日野川源流域の自然・文化」というテーマで、十二月十一日(土)に米子市内で開催しました。参加者は一三〇名。

影山猛さんからは「古文書にみる奥日野のたたら製鉄」と題して、明治中頃の近藤家の鉄山経営を中心にご講演いただきました。製鉄に必要な木炭生産のため、鉄山林(雑木林)



爐屋之図 (日南町吉鉦、明治10年代の図)



切り株からの萌芽

に山番が設置され大切に保護管理されてきたこと、循環利用のため伐採した広葉樹の切り株から生えてくる新芽(萌芽)を伐る「返し伐り」を禁じて森の再生を速めていたことなど、伝統的な森の取扱いのお話もお聞きしました。

日南町石見西小学校の加藤泰巨校長からは、同校が取り組んでいる「たたら体験学習」について、映像を交えて講演いただきました。たたら製鉄の著名な指導者や地域の方など多くの人々の協力を得て、子どもたちが先人の知恵、「ものづくり」の精神や喜びを学んだ体験について語られました。



たたら体験学習 (日南町立石見西小学校)



ブナ林での環境学習 (日南町花見山)

とともに、これからの自然林の保全と活用について提言いただきました。鳥取大学大学院の岡田純さんから「日野川源流とオオサンショウウオ」と題して、日南町内で行っている調査から、日野川源流部の生息環境は良いが、下流部の環境改変で影響がみられること、十分な水量を確保していくための森づくりや河川環境の保全の重要性について提言されました。

続いて行われたパネルディスカッション(司会は鳥取大学農学部、長澤良太助教授)では、源流域のたたら歴史・文化に根差し、自然林・雑木林を大切にしていくこと、場所によってはもっと増やしていくこと、一〇〇年で変化した森を、これからの一〇〇年をかけて豊かな森に変えていくことなどの提言がありました。

「たたら製鉄」の遺産を、明日の「まちづくり」・「森づくり」に活かしていくことは、先人から授かった大切なテーマではないでしょうか。皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています。



オオサンショウウオ

問い合わせ先
農林局 林業振興課
電話 0859-72-2017
担当 大西良幸・谷口紳二

「健康とつとり計画推進」

外食をうまく食べるために

外食栄養成分表示ってご存知ですか？

最近では外食を利用する機会が増えています。日野総合事務所では、外食料理に栄養成分表示をするよう、飲食店等に働きかけをしています。「外食をする時には活用しましょう」

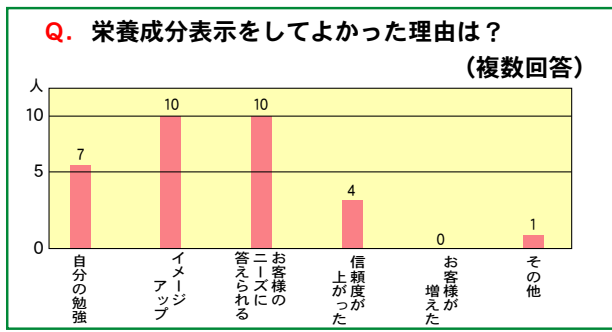
「栄養成分表示店」では料理のエネルギー、たんぱく質、脂質、塩分などを表示しています。外食選びに上手に活用しましょう。

野菜不足や脂肪のとり過ぎにならないよう外食もバランスを考えよう。

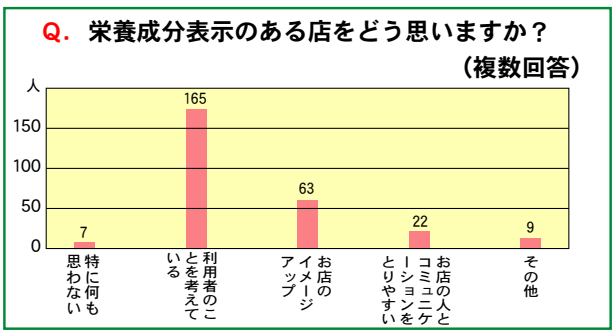
栄養成分表示の店

天 井	
エネルギー	650kca
たんぱく質	23.5g

栄養成分表示をしている店主20人にお尋ねしました。



利用客にお尋ねしました。



(2003年 鳥取県調べ)

鳥取県内の栄養成分表示店は32店舗で 日野郡内では2店舗が表示をしています。

問い合わせ先
 福祉保健局 保健衛生課
 電話 0859-7212037
 担当 阿部 暁子



ポスター表示 (株)メフォス 日南病院食堂



メニュー表示 (株)まちづくり日野 日野病院食堂

「日野川源流」九塚川

みお筋再生事業が完成！

(施工箇所 日野郡日南町福塚く猪子原)



間伐材の加工作業

ボランティア
佐伯さん

地元住民の方々にボランティアとして参加して頂きました。



魚が遡上できるように
巨大積魚道を構築しました



地元のみんで協力し合って、
懸命に事業に取り組んでいます。



河上洋生君より感謝の言葉



完成した木製階段で記念写真

「この事業のおかげで川に対する意識が高まった。みんなで地元の川を守らなくてはならない。」 (地元住民代表)

「魚釣りや川遊びがしやすくなりました。感謝しています。川を大事にします！」

(福栄小6年河上洋生君)

問い合わせ先

県土整備局 河川砂防課
電話 0859-72-2065
担当 沢田 道彦

来年度以降も、日野郡内において「みお筋再生事業」を展開できるように努めています。

この事業を実施して、地域の活力を感じました。また、協力しあうことで更に活気が生まれたのではないかと思います。

倉組が出席して完成を祝い、福栄小学校の児童や参加者による記念植樹が行われました。

11月13日には、九塚川河川公園で地元活性化グループ「アメイズスマイル福栄」の主催による手作りの完成記念行事が行われました。この記念行事には総勢100名の地元住民と県土整備局、施工業者の坪

「日野川源流みお筋再生事業」は、地元住民と協働作業で河川環境整備を行う事業で、今年度は日南町福塚の九塚川で事業を行い、11月10日に完成しました。

大山の森林とふれあいながら、 治山ダム群と周辺景観との調和を

「大山隠岐国立公園」の中心一大観光拠点である秀峰「大山」の南西斜面にある大ノ沢（通称0ノ沢）の、早期の森林の造成と、周辺景観との調和を図るため、10月23日一般市民のボランティアによる植栽活動を行いました。

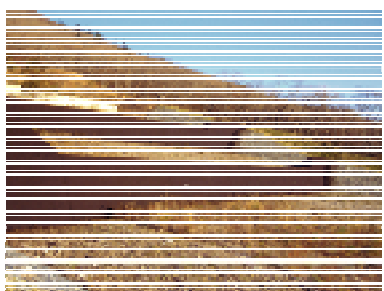


みんなで植栽しました

ヤシャブシの苗木



植栽活動の状況



コンクリート壁面への泥吹付状況

当日は晴天に恵まれ、初秋の陽気の中、郡内外から280人を超えるボランティアの皆さんが参加されました。

周辺の森林とふれあって、すがすがしい気分を味わいながら、約1,600本の苗木と、現地採取のミズナラのドングリを約2時間植栽していただきました。

また、後日には、施設コンクリート面の修景のため、草木の基材となる泥を吹き付ける作業も行い、施設が周辺の森林に溶け込んだ状態になりました。

今後は、植栽された苗木の生育状況を継続した調査と手入れを行い、治山ダム群周辺の早期の森林造成と周辺景観との調和を進めることとしています。

問い合わせ先

県土整備局 河川砂防課
電話 0859-72-2065
担当 藤井 優



除雪作業に御協力を！

冬將軍の到来する季節となりましたが、鳥取県では、12月1日から翌3月31日までを除雪期間としており、県土整備局でも、国道、県道の円滑な交通が確保されるよう除雪に努めています。

除雪に当たってのお願い

- ・ 除雪の妨げとなる路上駐車は止めましょう。
- ・ 車道への雪出しは止めましょう。
- ・ 早めのチェーン装着に心がけましょう。
- ・ 路面の凍結には十分注意しましょう。

除雪作業の手順

- ・ 午前2時頃………
雪量観測員の方々から降雪量、路面状況等の情報を収集
- ↓
- ・ 午前3時半頃………
除雪車・凍結防止剤散布車の出動
- ↓
- ・ 通勤・通学のための始発バスの時間に間に合うように除雪を完了

なお、歩道については、車道除雪終了後、除雪を行うことから要望全てにはお応えできない状況にあります。

除雪について、お気づきの点がありませんでしたら、ご意見をお寄せください。

問い合わせ先
 県土整備局 維持管理課
 電話 0859-72-2046
 担当 恩田 操

若者地域づくり支援事業

活動を完了しました!!

あとがき

昨年6月より開始したこの活動は、アドバイザーや地元日野町上菅地区の農業指導者の皆さん、その他多くの関係者の支援をもって、一応の終了を迎えることができました。活動者の若者3名は、みな途中でくじけることなく最後まで参加し続けられ、この7ヶ月間で色々なことを学ぶことができたものと思います。これまでの体験・経験を活かし、引き続き農業やボランティア活動、あるいは新たな就業などに向け、皆さんが今後も頑張っていられることを願います。

本当にお疲れさまでした。これからも応援しています!

●ボランティア活動

日野ボランティア・ネットワークの皆さんとともに、新潟県中越地震で被災された方々に送るためのかき餅づくりを行いました。

●工作活動

活動者の飛田さんが、独自の工夫を凝らして製作したイーゼル(画架)です。
なかなかの出来ばえ!
現在日野総合事務所写真の展示等に使用しています。

※西部地区では日野ボランティア・ネットワークが県と委託契約を結び事業実施。

最近の活動状況

●そば収穫

6月の草刈りから始めたそば畑の収穫を行いました。長雨・台風などにより残念ながら収穫量は少なかつたものの、いくらかの収益とすることができました。



問い合わせ先
県民局 県民課
電話0859-72-2086
地域振興担当 梅林 一成

日野郡そば研究会から

日野郡産そばの消費拡大にむけて

去る十一月二十八日 日野町役場前駐車場、山村開発センターにて第一回日野郡新そばまつりを開催しました。七店舗のそばが出店し、多数の来場者が今年の新そばを堪能しました。また同時に「素人そば打ち大会」を開催し、日野町野田の西村茂樹さんが最優秀に選ばれました。さらに「ちびっ子そば早食い競争」では、黒坂小学校の後藤直哉くんが優勝しました。今後これを機に日野郡そばの定着のため、各種イベントの開催など日野郡産そばの消費拡大を図っていきます。



めざせそば早食い一等賞!!



大勢の人でにぎわいました



そば打ち名人が競う

日野郡食育フォーラム

食が育む“すこやか日野”においでください。

日野地区食の実践チームでは、「食育」とはなにか。地域で食育にどのように取り組んでいくべきか等について次のとおり食育啓発のフォーラムを開催します。

と き 平成17年2月13日(日) 13時30分～16時45分

と ころ 日野町文化センター

内 容 【基調講演】

鳥取短期大学 学長 山田修平氏

【パネルディスカッション】

コーディネーター 鍛冶木いつ子氏

パネリスト

小谷博徳氏 (日野ボランティア・ネットワーク 代表)

大塚和子氏 (日野保健所管内食生活改善推進協議会 会長)

石川礼子氏 (日南町立ひのかみ保育園 園長)

徳尾智恵氏 (日南町学校給食センター 栄養士)

小学6年生 2名 (日野町立根雨小学校)

【日野郡イメージソング発表】

日野郡広域観光推進協議会が募集していた曲の発表と作詞者・作曲者の表彰を行います。

《演奏・歌 日野高校生徒》



入場無料

問 県民局 県民課
い 電話 0859-72-2084
合 担当 渡辺 功
わ せ

「話題」の施設

蔵美術館

日本一小さな



1階の市民ギャラリーでは3月末まで滝口町出身の洋画家岡野三郎氏の「冬の大山」シリーズを展示中



2階のお江戸資料館に展示されている小谷家に伝わる印賀綱の日本刀



大河ドラマ「新撰組」にも登場する山岡鉄舟の書といわれる屏風

蔵美術館を訪ねました。
館長にどうしてこの美術館を作られたか聞いてみると「地区の古い家が壊されると古いものいろいろでてきます。それを活かして里山と街の交流を進めよう」と思い立ちました。この美術館は鳥取県西部地震で傷んでいた江戸時代の米倉を一年がかりで補修し五月にオープンしました。百人近くのボランティアが助けてくれたおかげです。」

総二階で床面積はわずか一五坪程ですが、展示品は一階に洋画が七点、二階は「お江戸資料館」と称し、印賀綱の日本刀三点、鎧甲一点、着物三点、茶碗一点、書三点など、混交玉石。「開運！何でも鑑定団」（テレビ東京）から三回も問い合わせがあったそうです。

主な所蔵品

- 岡野三郎（溝口町出身）洋画五三点
- 印賀綱の日本刀
- 印賀綱の釘、鎧、など

利用方法

- ・入館方法 予約制（年四回の特別展示開催中は不要）留守をすることが多いのでお電話下さい。
- ・入館料 無料
- ・入館料 無料
- ・コーヒーマシンのサービス有り（上菅の天然水を使用しており美味）
- ・一階 市民ギャラリー（誰でも使用OK）
- ・二階 お江戸資料館
- ・小谷館長はその他、そば打ち体験（五〇〇円）や無農薬米の栽培なども教えておられます。
- ・問い合わせ先 蔵美術館 館長 小谷博徳
- ・所在地 日野郡日野町上菅三〇六
- ・電話番号 〇八五九（七四）〇一三六



地震のツメ跡も生々しい白壁 国道181号線からみられる

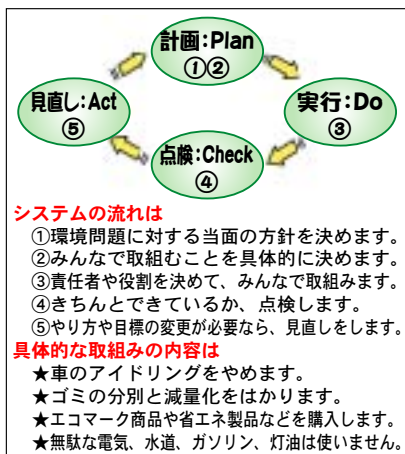
地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話

(第10回)



環境問題への取組

鳥取ルネッサンス運動では、「環境にやさしいエネルギー」の導入に取り組んでおり、その中で県が率先して行う取り組みの一つとして、ISO14001に基づき省エネルギーに努めています。



PDCAサイクル

「環境マネジメントシステム」とは、環境に配慮するための方針、目標を設定し、その目標を達成するためのシステム。そのシステム運用の方法として「PDCAサイクル」を導入しているのが特徴です。

世界共通の規格等の設定を行う民間の組織です。

・「ISO14000シリーズ」は、「環境に配慮した企業活動の進め方の基準」に関連する一連の規格です。このうち、「ISO14001」は、「環境マネジメントシステム」に関する規格として定められたものです。

◆ISO14001って何？
 ・ISOとは、「国際標準化機構」の略称。
 (International Organization for Standardization)

小学校や家庭でも取組めるのか： やってみようかな!!



日野郡の取得状況を見ると、TEASⅢ種を日南町の全小学校及び中学校と、郡内企業2社が取得しています。

規格の種類	対象組織
TEASⅠ種	ISO14001認証を 目指す企業
TEASⅡ種	I種以外の企業や高等学 校
TEASⅢ種	小中学校、家庭、 地域

愛称：テス (TEAS)
 家庭や学校、企業での環境配慮活動への取り組みを容易にするため、県が一定の基準を設けて、環境配慮活動を認定する独自の制度です。

◆鳥取県版環境管理システム認定制度について

ISO14001って、なんだか難しそうだな？

日野総合事務所の取り組み
 日野総合事務所では、今年12月、ISO14001の認証を受けたところですが、その主な活動として、休憩時間の照明の消灯、冷暖房の適正温度管理、コピー用紙の再利用(裏面利用)及び裁断した紙の牛舎への利用(敷わら)などに取り組んでいるところです。



学校版ISO交流会 (日南町)

皆さん！
 日野郡の豊かで美しい自然を守るために、さらには地球環境の保全のため、家庭や職場など身近なところで、自分たちができることを考え取り組んでみてはどうでしょうか。

問い合わせ先
 県民局
 電話 0859-72-2084
 担当 山下・高橋

鳥取県 日野郡民行政参画推進会議からお知らせ



4町長との意見交換会

◆第10回鳥取県日野郡民行政推進会議（平成16年10月2日開催）において提出した「県への意見・提言」に対する県の処理方針等について、次ページ以降に掲載しております。

また、12月11日（土）には、知事及び日野郡4町長との意見交換会を開催しました。郡民会議委員と町長との意見交換は初めての試みでした。この会議では、町職員に町外在住者が増えていることに対する職員採用の問題や町民会議の設置など、活発な意見交換を行いました。

■第2期委員が決まりました！

12月5日（日）に抽選会を開催した結果、次のとおり第2期委員が決まりました。



- ・応募者 31名
- ・新委員 24名(現委員の再任者4名)
- ・最年長 73歳 ・最年少 39歳
- ・平均年齢55・2歳

町名	男性	女性	計
日南町	4	4	8
日野町	3	3	6
江府町	5	5	10

◆日野郡民会議は、平成14年10月に設置し、委員（第一期）の任期は本年12月31日までの期間でした。この間、10回の会議を重ね、県への意見数は270件、さらに第10回会議での「意見・提言」7件を加えると277件にのぼりました。これらの意見により、「地域が育む河川環境整備事業」や「アユ冷水病調査事業」などが事業化され、本会議の成果として評価されます。

委員の皆様におかれましては、本当にご苦労さまでした。この経験を地元の活性化の取り組みに活かしていただくとともに、引き続き



4町長との意見交換会

き、県政を見守っていただきますようお願いいたします。

(平成16年10月2日提出)

意見・提言	現状・経過	処理方針等
<p>日野高校の情報発信について</p> <p>平成12年度に黒坂の日野産業高校と根雨の根雨高校を再編成し総合学科の日野高校がスタートして4年が経過しました。</p> <p>郡内唯一の高校である日野高校のことは私たちの大きな関心事であり、その充実発展を郡民の多くが願っています。</p> <p>日野郡民行政参画推進会議のなかで、日野高校の現状やいろいろな取り組みあるいはその成果などのたくさんのお話を伺いましたが、ほとんどを正確に知りませんでした。</p> <p>在校生に占める日野郡出身者の割合が約30%という現状もあり、これから高校進学を目指す子ども達や保護者さらには広く日野郡民に、魅力ある日野高校の本来の姿を理解してもらうための情報発信がこれまで以上に必要であると考えます。</p> <p>このことが郡内進学希望者の入学率の向上に資するものと確信します。</p> <p>つきましては、以下に述べます日野高校の情報発信充実の取り組みに対して格別のご配慮をお願いします。</p> <p>1. 「日野高校だより」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 内容の充実 ・ 系列の分かりやすい説明や紹介（在学中に取得できる資格の説明も含む） ・ 生徒及び学校の特色ある取り組み状況 ・ 進学あるいは就職等の実績の公表 ・ (2) 配布先の見直し ・ 年3回発行の配布手段 ・ 高校進学を目指す子ども達やその保護者、日野郡民 ・ (3) その他 ・ OB訪問インタビュー記事の掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 総合学科での特色ある教育活動や卒業生の進路などについて掲載している。 ・ (2) 在校生、保護者を中心に配布するとともに日野町役場など、町内各機関にも若干配布している。 ・ (3) 掲載していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 会議の意見を踏まえ、教育活動を様々な視点で紹介できるように内容を充実を図りたい。 ・ (2) 日野総合事務所と協力して、現在年6回、日野郡の全戸に配布されている「日野総合事務所だより」に、例えば「教育のページ」或いは「日野高校コーナー」を設けて、情報を発信できるように取り組みたい。 ・ (3) 提言の趣旨を尊重して取り組みたい

<p>2. 出前日野高校の充実</p> <p>(1) 郡内及び西部地区中学校への説明会</p> <p>(2) 郡内各地区への説明会</p> <p>(3) 中学校の教員及び保護者との交流</p> <p>3. ホームページの充実</p>	<p>(1) 進学説明会、一日体験入学、学校参観週間等において、日野高校の授業内容や取り組みを紹介している。</p> <p>(2) 実施していない。</p> <p>(3) 中学校の教員とは、教科や教科以外の分野で、研究協議を実施している。保護者との交流は実施していない。</p> <p>随時更新し、内容の充実に努めている。</p>	<p>(1) 今後も、一層の充実を図りたい。</p> <p>(2) 各中学校の協力を得ながら、出前説明会を開催したい。</p> <p>(3) 学校全体として、保護者との交流も図りたい。</p> <p>今後より一層内容の充実を図るとともに、「日野高校だより」等でホームページの紹介に努めたい。</p>
<p>生徒による学校評価の実施について</p> <p>地域に開かれた学校づくりを進める一環として、各々の学校が行っている自らの教育活動など学校運営の内部評価に対し、学校外部からの検証も進められています。</p> <p>もちろん、学校外部から、より効果的な学校評価のあり方を検討することは大切なことと考えますが、実際にそこで学んでいる生徒の生の声を聞くことも重要なことと考えます。</p> <p>日野高校においては、現在、授業に対し生徒が評価を行っているとのことですが、在校生による学校全体の評価を実施し、今後の学校運営の参考とされれば、更なる学校の充実に資するものと考えます。</p> <p>つきましては、在校生による学校評価の実施について、以下のとおり御検討をお願いします。</p> <p>1 評価者 在校生</p> <p>2 評価項目(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業 ・ 学校行事 ・ 学校施設 ・ 学校全体の総合評価 など <p>3 評価の活用 学校運営に活かす方法を公表も含め検討</p>	<p>現状・経過</p> <p>昨年度までは、職員間で授業、学校行事、学校施設等について協議や点検を行ってきたが、生徒による学校評価は実施していなかった。</p>	<p>処理方針等</p> <p>提言書の趣旨を尊重し、今年度中には生徒・保護者を対象に学校に対するアンケートを実施する予定。アンケートの項目及び結果の集約・公表の方法については、今後委員会を作つて検討する。</p>

LD等専門員の専任配置について

日野郡内においてLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、自閉症等について、医師による診断を受けている児童生徒は少ないが、類似の困難を持ち、学校が何らかの支援・指導が必要と考えている児童生徒はかかります。

○平成15年度 日野郡内のLD等専門員への相談延べ人数（月例集計の合計）

・ 幼児9名・小学生70名・中学生13名・合計92名

○平成16年度は7月現在で、延べ72名

現在、西部教育事務所配置のLD等専門員1名が、西伯郡・日野郡を担当し、各小中学校41校への巡回による相談・指導と随時の相談・指導を行っています。

また、保育所・幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携は、各所・園・学校に任されており、「幼児（就学前）－学校教育－就労」の一貫した支援体制や保健福祉・教育・労働が連携した支援体制は、まだ整備されておりません。

このような状況下、これら幼児・児童・生徒とその保護者への指導・支援体制の整備と確立は急務です。

つきましては、LD等専門員の日野郡専任配置により、各学校への定期的・計画的な巡回相談・指導の実施や児童生徒への継続的な支援が可能となることに、時間的な制約のため、これまでは専門員への相談に至らなかった多くの幼児・児童・生徒をはじめ保護者への対応も充実するものと考えます。

また、専門員が地域コーディネーターの役割を担うことにより、保幼・小・中あるいは福祉保健局等の関係機関・部署との連携がスムーズに行えるよう、その専任配置を強く要望します。

西部教育事務所のLD等専門員が担当する西伯郡・日野郡については、学校数が多いことに加え、教育事務所から遠距離であることから、他の郡市と比較して1校当たりの相談・指導の回数や時間が少ない状況である。

西伯郡・日野郡について、LD等専門員を増員する必要があると考えられることから、平成17年度増員に向けて取組を進めたい。

意見・提言	現状・経過	処理方針等
<p>各町教育委員会への地域指導主事の派遣について</p> <p>学校週5日制の実施に伴い、学校と地域がより緊密に連携して子ども達の育成にあたることが求められています。</p> <p>特に過疎化、少子高齢化が進む日野郡にあつては、学校はもつと地域にかかわり、互いに共通理解をもつて子ども達の育成に努める必要があります。</p> <p>地域活動での楽しい体験、世代間を超えた交流は子ども達の豊かな感性を育むとともにいつまでも記憶に残り、郷土を大切に育てる貴重な機会です。</p> <p>しかしながら、学校と地域との連携は決して十分とは言えず、学校の現況を把握して、地域の活動（行事等）計画認定に参画するなど、そのコーディネーターの役割を担う地域指導主事の配置があれば、より効果的な取り組みが行われるものと考えます。</p> <p>つきましては、地域指導主事の派遣により、子育ての課題を保護者や地域住民に啓発するとともに、学校教育では十分指導できないことを学校外活動で行なったり、住民が協力して地域で子育てができる場づくりの企画や家庭教育に資する取り組みがスムーズに行われるものと考えます。</p> <p>更には、地域の声を学校に届け、開かれた学校づくり、特色ある学校づくり、信頼される学校づくりに寄与することができると考えますので、両者のパイプ役となる地域指導主事の派遣とその費用負担について格別のご配慮をお願いします。</p>	<p>平成13年度から希望する町村に、地域教育担当の指導主事を派遣しているが日野郡4町からは希望がなく、これまで派遣の実績はない（県内で16町村が活用）。</p>	<p>11月初めに、溝口町を除く日野郡3町の教育委員会の意向を改めて聞いたところ、各町とも必要性は認識されているが、単町での派遣は県の助成（1/2）があつても困難との考えであつた。引き続き3町の意向を聞きながら協力金方式による3町合同での派遣など、弾力的な扱いも視野に入れ、県としてどのような支援が出来るか検討していきたい。</p>

湧き水による地域おこしについて

県に於かれては、「森林環境保全税」導入され平成17年度から施行されますが、本税により自然環境の保全を目指されており、誠に時機を得た立派な施策と思っております。

この日野郡は、かの井上靖氏をして「中国山地の稜線、天体の植民地」と、言わしめた地域であります。また、商都「米子市」を支える水瓶でもあります。

日野郡の自然の代名詞であり、いつまでも守って行かなければならないもの、これは即ち「水」であります。豊かな自然を象徴する、きれいな、うまい湧き水を、日野川保全、水源涵養のひとつの手段に使うことを提言いたします。

日野郡の湧き水を調査し、うまみを含めた成分を明らかにして、大いにPRすることにより日野郡各所の自然への注目を集め、ひいては「日野川の保全」に、「林業の保全」に貢献するものと考えます。

県が主導して（又は、各種組織を指揮して）下記事項について取組んで頂くことをお願いいたします。

1、「うまい水みつけた」郡民運動の展開

《展開方法》日野川の源流と流域を守る会とのタイアップによる運動の展開

2、集めた水のうまみを含めた成分検査と、名水の認定

3、日野郡の水普及（PR）事業の展開

（1）うまい水マップとハイキングコースの案内パンフレットの作成とPR

（2）「うまい水を飲もう」ツアーの開催

《展開方法》①日野川の源流と流域を守る会とのタイアップ
②日野郡広域観光推進協議会とのタイアップ

【名水と名所旧跡の連携による観光ルートの設定】

4、将来の取り組み

（1）うまい水が育てた農産物の販路拡大のためのPR展開
（2）うまい水を使った食品加工施設の建設・誘致と販売への助成

尚、その財源には次のようなものが考えられます。

1、森林環境保全税による助成

2、関係市町村による経費助成制度の創設

現在、日野総合事務所では、「日野川の源流と流域を守る会」・「日野郡広域観光推進協議会」と連携し、下記の取組を行っている。

○「日野川の源流と流域を守る会」

（H14年4月設立）の取組

目的：日野川を一人ひとりが大切にし、恵まれた環境のまま次世代へ引き継ぐとともに、源流と流域の自然を守り日本一美しい川にする。

活動：日野川源流を訪ねる会（森林散策や源流碑の探訪）

- ・親子森林教室（枝打ち体験等）
- ・森と川の楽校（森林学習や川の生き物学習）
- ・講演会など

○「日野郡広域観光推進協議会」

（H13年11月設立）の取組

目的：広域的な観光振興による日野地域の活性化に取り組む。

活動：魅力再発見ツアー（地元の人に地元の良さを認識してもらう取組）

- ・日野郡合同朝市（単独で開催していた朝市を米子駅前で合同で開催しPR）
- ・日野郡朝市スタンプラリー（朝市7箇所、観光施設8箇所）

- ・首都圏、関西圏でのPR
- ・日野郡広域観光マップ作成など

○日野郡産農作物のPR（日野総合事務所）

- ・日野川源流米コンテスト（日野郡産コシヒカリ）
- ・日野郡合同朝市（広域観光推進協議会との連携）
- ・生産者との連携による大阪や岡山などでの市場調査（市場や小売店からの情報収集）

日野郡の湧き水の場所については、産業分科会で、今後、調査をされることとなつてはいるが、その際成分検査、あるいはその検査結果に基づく「日野郡の水」の活用について、県でできる支援を考えていきたい。

意見・提言	現状・経過	処理方針等
<p>郡内各グループの連携について</p> <p>この日野郡でも、農林業を始め、様々な人材が、各自各様に頑張っておられます。この個人の力を小グループの力を、日野郡というもう少し広い地域の中で、連携をとってもう少し大きな力とすることができないものではないでしょうか。即ち点と点を線で結ぶことができないか。</p> <p>米子で行なわれました日野郡の朝市に参加させて頂きました。各地域で、夫々のグループが、本当に各自各様に頑張っておられるのが良く判りました。ここで、お互いが、夫々のノウハウを出し連携し合えば、もう少し大きな市場が確保出来るのではないかと、思いました。</p> <p>これは農業だ、これは林業だ、これは商業だ、観光だ…、日南町だ、日野町だ、江府町だ、溝口町だ、と線を引くのではなく、いろんな立場の人が、意見を交わり、協調し、連携していく方法はないものでしょうか。</p> <p>朝市グループの連携から、米子にでも共同のアンテナショップを持つことに繋がっていかないものでしょうか。待ちの姿勢から、攻めの姿勢へ…お客を待つのでなく、売り込んでいく姿勢へ、作るだけの農業でなく、自らが販売していく農業へ、消費者の意向を生かす農業へ…いろんな人が多種多様な意見を出し合い、連帯して行けば日野郡の活性化につながると思うのであります。</p> <p>その為、県の主導による（または、県の指導による）JA・その他組織を通じて）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、朝市グループの連絡協議会の設立（農産物販売力向上に向けた組織作り） 2、日野高校、県試験場等を含む特産物栽培協議会の設立（特産品開発と栽培技術向上に向けた組織作り） 3、県等の専門家による出前講座的、定期的な勉強会の開催（米作り・トマト作り・農業簿記・販売技術等） 	<p>○日野郡朝市グループの連携について</p> <p>日野郡内の各朝市は、日野郡広域観光推進協議会の「合同朝市の開催（H15、16）」、「朝市スタンプリーの実施（H16）」、「朝市マップの作成（H15）」などの取組を通じて、連携しつつある。</p> <p>○特産品づくりに係る出前講座、勉強会について米やトマト、ネギなどの特産品づくりについて、大規模な農家だけではなく、初めて生産に取り組まれる農家も対象に研修会を農協営農センターと共同で開催している。また、各朝市グループや各地区の農業団体などからの要請に応じて、農業改良普及所が出前講座として栽培指導や農薬の適正使用の助言などを行っているところである。</p> <p>○リーダー養成講座及び助成講座について</p> <p>県民の自主的な地域づくりへの取組や活動を支援するため、平成15年5月に「鳥取県地域づくりセンター（倉吉米米中心内）」を設立し、人材育成（セミナーの開催、相談助言（コーディネーターの配置）や情報提供などの支援が行われている。</p> <p>また、鳥取県男女共同参画センターでも「地域女性リーダー研修」などが開催されている。</p>	<p>協議会等の設立については、その効果や成果を達成するためには、各生産者や関係団体の熱意ややる気が何よりも重要な要素であると考えており、それぞれ関係者がよく話し合い・検討していただき協議会等の立ち上げを自主的に行っていただきたい。その際には、県としても必要な支援（情報提供やアドバイスなど）を行いたい。</p> <p>また、リーダー等の人材育成に係る講座、研修については、「現状・経過」で説明した講座等を積極的に活用していただきたい。</p>

4、地域おこしに取組む意欲ある人に対するリーダー養成講座及び女性講座の創設に、取組んで頂きたいをお願いします。

なお、将来の取り組みとして、米子などへ日野郡独自の共同アンテナショップを設置する際には、できる範囲で県の支援をいただければと考えています。

意見・提言

住みよいまちづくりのために高齢者への情報提供へ
外来語の注釈について

通知文書やパンフレット、チラシなどには多くの外来語（カタカナ用語）が使用されているが、高齢者にとっては、理解できないことが多いことから、以下の事項について、御配慮をお願いします。

外来語を使用する場合は、注釈を付けて読んでもらいやすいように、太文字など目立ちやすい表記に努める。

文書はなるべく簡潔に、まわりくどく難しい表現は避け、簡潔書きなどを心がけます。また、その文章表現が高齢者にとって適切かどうかの校正を徹底する。

現状・経過

公文書における外来語の言い換えについては、独立行政法人国立国語研究所の「外来語」言い換え提案（平成15年3月～平成16年10月）を採用している。この提案にない外来語については、安易に使用するのではなく、一つ一つの用語を十分吟味して、分かりやすい用語を使うこととし、やむを得ず外来語をそのまま言い換えずに使用する場合でも、できる限り注釈を付記することとしている。

文章表現については、簡潔で分かりやすいものとするとしている。

処理方針等

外来語及び文章表現の取扱いについては、パンフレット、チラシなどを含め、外来語を使用する際はわかりやすい用語に言い換えるか注釈をつけること、又、簡潔でわかりやすい文書表現をすることを徹底する。

使用する文字については、相手方が、高齢者等で配慮が必要な場合には、大きな文字を使用する。

日野高校

12月10日の鳥取県日野郡民行政参画推進会議の提言により、今回から新たに日野高校コーナーを作っていました。

地元に着した高校でありたいと考えています。本校のイベント紹介や学校の様子など情報発信させていただきますので、是非読んでみて下さい。本校のホームページも開設していますので、一度アクセスしてみてください。

<http://www.torikyo.ed.jp/hino-h/>

毎年恒例！日野高餅つき



福祉餅つきを12月17日行いました。自分たちで育てたもち米で餅180kgをつき、独居老人のお宅に配りました。

完成間近の

全天候型テニスコート

テニスコート跡に新築した教室棟完成にともない新たに新設する全天候型テニスコート（オムニコート）3面の工事も順調に進み、まもなく完成の予定です。県立高校では初めての全天候型のコートです。

ソフトテニスの盛んな日野地区の特色を生かし力を入れていこうと考えています。ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。



2月に行われるイベント紹介

第3回 日野高等学校定期演奏会

2005年2月5日(土)

♪ 根雨公演 10時30分～
日野町文化ホール

♪ 米子公演 18時～
米子コンベンションセンター小ホール

♪♪♪ 入場無料 ♪♪♪



日野高校になって3回目、そして根雨高校音楽教養コース時代から数えて**10回目**という節目の記念演奏会

お問い合わせ 鳥取県立日野高等学校 音楽科 (稲田・安田・石黒)
TEL (0859) 72-0365 FAX (0859) 72-0366

地元の皆様の多数のご来場をお待ちしております。

第3回 日野高等学校

「産業社会と人間」学習発表会



2005年
2月19日(土)

日野町文化ホール

13時～15時30分



この1年間の学習成果の発表会です。私達はこんなに成長しました。是非発表会において下さい。

楽しいイベント紹介 (地域イベント助成事業)

日野郡広域観光推進協議会から



雪の中でおもいっきり
遊んじゃおう！

自然体験
「第11回ゆきんこ祭」

参加者募集中

日時 平成17年2月6日(日)

場所 日南町下阿毘縁

- ・雪像つくり「翔け大酉」
- ・「ゆきんこ村一周ソリマラソン」
- ・スノーモービルにも

のつちやオー

申込締切 2月1日(火)

問い合わせ先

ゆきんこ村

87-0431

2005
自作そりワールドカップ
in オクダイセン

参加者募集中



第17回目になりました

もうすっかりおなじみですネ
あなたも参加しませんか

日時 平成17年2月20日(日)

場所 江府町御机大平原

奥大山スキー場特設コース

申込締切 2月19日(土)

問い合わせ先

エバーランド奥大山

77-2828

出雲街道根雨イベント
おしどりマラソン大会

参加者募集中

日時 平成17年3月13日(日)

場所 日野町根雨

宿地内特設コース

問い合わせ先

まちづくり日野 72-0280



癒しの水音めぐり
おしどりウオーク大会

参加者募集中

日時 平成17年3月27日(日)

場所 日野町商工会館前

金持神社

問い合わせ先

まちづくり日野 72-0280



日野郡は
岡山に人気!!

朝市スタンプラリーは好評のうち
に12月20日に終了しました。176枚の応募をいただきましたが、驚いたことに、半数以上は岡山県からのお客様からでした。県境をまたいでの日野郡のPRに力を入れる必要があるなあと
思いました。

応募者からの「ご意見」

- ・スタンプラリーのおかげで、あまり行ったことのないところに行き、美しい景色を見たり、みやげを買ったりして楽しめました。
- ・初めてのところが多くてとても楽しかった。
- ・行ったところは親切で良かったです。又行きます。
- ・自然いっぱいの中で育った野菜はやっぱりいいですね。

西部家畜保健衛生所



住 所 西伯郡伯耆町金屋谷1540-17
TEL 0859-62-0140~0141

溝口家畜保健衛生所が西部家畜保健衛生所へ名称変更しました。今後とも宜しくお願ひします。

1月1日に岸本町と溝口町が合併し西伯郡伯耆町が誕生しました。これにより旧溝口町の区域を所管する県の組織が、日野総合事務所から西部総合事務所に変わります。なお、3月31日までの特例により引き続き日野総合事務所が所管します。

**伯耆町設置に伴い
県組織の所管が
変わります**

※ 現伯耆町（旧溝口町）の対象者の方は、今回の申請は、日野総合事務所窓口へお願ひします。

申請期限 平成17年1月31日(月)

鳥取県西部地震被災者向け住宅資金利子補給金（貸付事業も含む）の1月申請の方は、日野総合事務所県民局県民課へ申請してください。対象の方には事前に通知しておりますのでお忘れのないようにお願ひします。

問い合わせ先
県民局 県民課
電話0859-72-0321
担当 宮本佳世子

**西部地震の利子補給申請は
お済みですか？**

納税は安全・便利な口座振替に！

県税（自動車税・個人事業税）や町税など（町県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・介護保険料）の払い込みには電気代などと同じ様に期限の日に指定口座から自動的に引き落とす口座振替がご利用できます。口座振替にすれば金融機関までお金を持つて行く必要がないので、お薦めです。県税の口座振替は金融機関か日野総合事務所県民局へお申し込みください。

問い合わせ先
県民局 県民課
電話0859-72-2083
担当 別所秀典

問い合わせ先
県民局 県民課
電話0859-72-2085
担当 土井一寛



詳しくは住宅金融公庫中国支店
TEL 082(221)8709
又は現在ご返済中の金融機関までご連絡ください。

**公庫住宅ローンの
返済方法は変更可能？**

いったん始まった住宅金融公庫のローン返済。「今の返済方法をずっと続けたいとしないの？」
不景気で収入が減りローンの返済額を抑えたい、ボーナス払いの負担を軽くしたいなど現在の返済方法でお悩みの方、お気軽にご相談ください。公庫ではさまざまな返済方法の変更をご用意しております。
☆休日相談(第1、第3日曜日)実施中！
TEL 082(221)8716

鳥取会場

平成17年

2月2日(水)

12:30～16:00(開場11:45)

ホテルニューオータニ鳥取
鳥取市今町2-153

倉吉会場

平成17年

2月3日(木)

12:30～16:00(開場11:45)

倉吉未来中心
倉吉市秋経寺町212-5

米子会場

平成17年

2月4日(金)

12:30～16:00(開場11:45)

米子コンベンションセンター
ビッグシップ 米子市末六町74

●お問い合わせ先

■(財)ふるさと鳥取県定住機構

【本所】
鳥取市立川町8-17E TEL0857-24-4740

【西区事務所】
米子市末六町187 TEL0859-38-6032

■鳥取労働局職業安定部職業対策課

鳥取市富安2丁目89-9 TEL0857-23-1703

■鳥取県商工労働部労働雇用課

鳥取市安町1-220 TEL0859-26-7691

■公共職業安定所(ハローワーク)

●主催

鳥取労働局、鳥取県、公共職業安定所、
財団法人ふるさと鳥取県定住機構

●後援

独立行政法人雇用・能力開発機構鳥取センター

**2005年
2月**

一般の就職希望の方、平成17年3月に大学等及び高校を卒業予定の方、既に卒業して未就職の方等鳥取県での就職を希望される方を対象とした就職フェアを開催いたします。企業より会社概要及び従事する業務その他求人内容の説明のほか、予備面接(履歴書不要)が受けられます。

とっとり就職フェア

いろいろな相談コーナーを
揃えています

- 職業相談コーナー
- 職業適性検査コーナー
- 介護・福祉職業相談コーナー
- 公共職業訓練施設コーナー
- 情報コーナー

参加企業については
取りまとめ次第
ホームページに掲載

(財)ふるさと鳥取県定住機構
<http://www2-ttc.or.jp/~turyasato/>
県内ハローワーク
<http://www.hellowork-tu.go.jp>